

名古屋発・名古屋初、名古屋でしか見られない！豪華出演陣でお贈りします。

名古屋御前能



能と舞踊で、足疾鬼と韋駄天の争いを描いたダイナミックな新作

舍利

番組
【夜の部】

舞囃子「天鼓」
大槻文藏

狂言「柑子俵」
野村小三郎

新作「舍利」
梅若玄祥
藤間勘十郎



二人静

番組
【昼の部】

舞囃子「高砂」
片山清司

狂言「寝音曲」
野村小三郎

箏曲「吉野静」
藤間勘十郎

能「二人静」
梅若玄祥
大槻文藏

「二人の」静御前が現れ、義経への思いを舞う美しい能

藤間勘十郎

片山清司

梅若玄祥

大槻文藏

野村小三郎

12/11(金)名古屋能楽堂

昼の部：13時開演（12時30分開場）／夜の部：18時開演（17時30分開場）

チケット料金（税込）
SS：¥15,000
S：¥12,000
A：¥9,000
B：¥5,000

※番組・出演者は変更になる場合があります。ご了承ください。 [主催] 中京テレビ放送 [協力] (財)梅若会、狐塚、藤間オフィス [制作] エムアンドエム
※未就学児童のご入場は、保護者同伴の場合でもお断りしています。

お問合せ
お申込み 中京テレビ事業 ☎052-957-3333

〒460-8613 名古屋市中区錦3-15-15 CTV錦ビル6F(月～金 AM9:30～PM17:30/土・日・祝日休業)

チケット発売所
チケットぴあ…0570-02-9999 (PCODE:395-848)
イープラス…eplus.jp
ローソンチケット…0570-084-004 (Lコード:46222)
他有名PG
7月4日一般発売開始

中京テレビ事業 検索
http://cte.jp



の部 13:00開演

番組

舞雑子

高砂

片山 清司

大鼓 河村眞之介 太鼓 観世 元伯
小鼓 後藤嘉津幸 笛 藤田六郎兵衛

狂言

寝音曲

太郎冠者 野村小三郎

主 奥津健太郎

箏曲

吉野静

立方 藤間勘十郎

(休憩)

能

二人静

神職の従者 野村小三郎

大鼓 河村眞之介 笛 藤田六郎兵衛
小鼓 後藤嘉津幸

能楽屋御前



の部 18:00開演

舞雑子

天鼓

大槻 文蔵

大鼓 河村眞之介 太鼓 観世 元伯
小鼓 後藤嘉津幸 笛 藤田六郎兵衛

狂言

柑子俵

柑子売 野村小三郎

柑子屋の亭主 奥津健太郎
太郎冠者 野村 信朗

能と舞踊による新作

舎利

韋駄天 藤間勘十郎
足疾鬼 梅若 玄祥

(休憩)

箏曲「吉野静」

「明治新曲」と呼ばれる三弦(三味線)を含まない曲の一つで、作曲は菊芳秋調。吉野山の静御前を描いた作品で、舞としても度々演じられる。前半部分は、義経と別れた哀しさを、後半部分の「賤や賤」からは、昔を回想して華やかに舞う。

狂言「寝音曲」

前夜、太郎冠者(召使い)宅の前を通った際に謡を謡う声聞きつけた主人は、翌日太郎冠者を呼びだして真偽を確かめますが、これが癖になって度々謡わされては迷惑と思った太郎冠者は「酒を飲まなければ声が出ない」「女房の膝枕でなければ謡えない」とあれこれ勿体をつけて、なかなか謡おうとしません。これらの注文を苦々しく思う主人ですが、何とかして謡を聞こうと思いい、酒をふるまったりえ、自分の膝まで提供して謡わせます。

狂言「柑子俵」

柑子(蜜柑の原種)の行商人がいつもの柑子屋に仕入れに行きますが、店の亭主は商売物の柑子を友達にあげる約束をしまい、売るべき柑子が手許に有りません。そこで主人の窮地を救おうと、太郎冠者が一計を案じてとある企てをしますが……



能「二人静」

菜摘み女の前に女が現れ、吉野に帰ったなら神職に自分の供養のために写経するよう伝言を頼む。恐ろしいことを言うものだと思われ、驚いて名を尋ねるが、女は名乗らず、このことを疑う者がいたら、自分が菜摘み女にのりうって名を明かそうと言って消える。
菜摘み女がこのことを神職に告げると、最初の女が憑依し、宝蔵の舞装束を言い当て、装束を着けた菜摘み女が舞い始めると、静御前の霊も同装束で現れ、共に舞って消える。

能と舞踊による新作

「舎利」

出雲国美保の関を出た旅僧が、十六羅漢・仏舎利を拝もうと、東山の泉涌寺へ参詣する。寺の男の案内で、僧は仏舎利を礼拝し、感涙に墨染の袖を濡らしていた。
そこに、寺近くに住む里の男が現れて、ともに仏舎利を拝み、仏法東漸のこと、靈鷲山のことなどを語るうちに雲かき曇り、稲妻が走った。男の面色は急に変わり、その昔、この仏舎利は足疾鬼が奪ったものだという、舎利殿に飛び上がり、牙舍利を取ると、天井を蹴破って行方知れずになった。
寺を守護する韋駄天が現れ、足疾鬼を逃すまいと天に追い上げ、下界に下して牙舍利を奪い返すと、足疾鬼は力尽き、心も茫々として消え失せた。

